

第 77 回山梨県高等学校総合体育大会サッカー競技(女子)

兼 全国高等学校総合体育大会関東予選山梨県予選 要項(案)

1. 主催 : 山梨県高等学校体育連盟
2. 共催 : 山梨県教育委員会
3. 主管 : 山梨県高等学校体育連盟サッカー専門部
4. 後援 : (公財) 山梨県スポーツ協会、(一社) 山梨県サッカー協会
5. 期日 : 2026年5月13日(水)、14日(木)、15日(金)
6. 会場 : YSKe-com シルクパークG、押原公園人工芝G・天然芝G
7. 引率・監督:(1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率され、選手のすべての行動に対し、引率責任者が責任を負うものとする。
(2) 引率責任者は校長の認める当該校の職員とする。
(3) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
8. 参加資格 : (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。ただし、休学中、留学中の生徒を除く。
(2) 選手は山梨県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、当該競技要項により本大会参加の資格を得た者とする。
(3) 年齢は2007年(平成19年4月2日)~2011年(平成23年4月1日)に生まれた選手であること。<15歳~19歳> ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
(4) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない
(5) 統廃合の対象となる学校については統廃合完了前の2年間に限り合同チームによる大会参加を認める。
(6) 部員不足に伴う複数校合同チームの参加については、合同チーム申請書を県高体連サッカー専門部の許可を得た上で認める。
(7) ア 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は山梨県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りでない。
イ 高体連加盟チームに所属していた選手は他校において6ヶ月間は出場できない。
ウ 転校の有無にかかわらず、他の連盟から高体連加盟チームに移籍する場合は上記アに準ずるものとする。ただし、この規定ウの適用は当該年度内に限るものとする。
〈追記事項〉
ウの移籍とは登録変更(抹消→新規登録)を指す。適用例を以下に示す。
例1 当該年度内に登録変更を完了した場合。
→登録変更後6ヶ月間は試合に出場できない。ただし、年度を越えて適用しない。
例2 当該年度末に継続登録をせず、登録を抹消した場合。
→次年度に新規登録完了後すぐに出場できる。
(7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在籍する校長の承認を必要とする。

(8) 山梨県高等学校体育大会参加資格の特例

- ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、山梨県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途の定める規定に従い大会参加を認める。
- イ 上記(4)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

《大会参加資格の別途に定める規定》

I 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、山梨県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

II 以下の条件を具備すること。

①大会参加資格を認める条件

- ア 山梨県高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- イ 参加を希望する専修学校および各種学校にあっては、年齢・修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
- ウ 各学校にあっては山梨県高等学校体育連盟主催大会の出場が認められること。
- エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べ著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

②大会参加に際し守るべき条件

- ア 大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

(9) 大会参加制限

[外国人留学生の出場枠について]

- ① 学校教育法第1条に規定する高等学校卒業を目的として入学している生徒であること。
- ② 在籍校が、山梨県高等学校体育連盟に加盟していること。
- ③ 年齢は平成19年4月2日以降に生まれたものとする。
- ④ 短期留学は除く。
- ⑤ 外国人留学生についての登録は4名までとし、試合出場は2名までとする。

(10) 2026年度(公財)日本サッカー協会に登録を完了した者。なお、試合会場に選手登録証(写真付)を持参しない選手は試合に出場できない。

【選手登録証とは(公財)日本サッカー協会 Web 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧をさす】

9.参加校数：4校

10.競技方法：(1) トーナメント戦により関東大会に出場する代表1校(優勝)を決定する。

- (2) 試合時間は70分とし、ハーフタイムのインターバルは前半終了後10分間とする。
- (3) 勝敗が決定しないときは20分間の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティキック方式により勝利チームを決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間、延長戦ハーフタイムのインターバルはなし、ペナルティキック方式に入る前のインターバルは1分間とする。

- 11.競技規則：(1) 当該年度の（公財）日本サッカー協会競技規則による。
- (2) 試合登録選手数：20名
- (3) 交代できる数：5名（再交代制度は適用しない、交代用紙を使用する）
延長戦に入った場合、交代要員を1名かつ交代回数を1回追加することができる。
- (4) 交代回数の制限
- ①選手交代は、試合中の交代回数を3回までとする。
(1回に複数人を交代することは可能)
- ②ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバル、延長戦のハーフタイムでの選手交代は、試合中の交代回数に含まれない。
- ③試合中に使わなかった交代、また、残りの交代回数は延長戦に繰り越す。
- (5) 脳振盪による交代
- ①1試合において、各チームは最大1人の「脳振盪による交代」を使うことができる。
- ②「脳振盪による交代」は、その前に何人の交代要員が使われているかにかかわらず、行うことができる。
- ③交代で退いた競技者が、脳振盪による交代で再び競技者になることはできない。
- ④一方のチームが、「脳振盪による交代」を使用したならば、相手チームは、（脳振盪に限らず）いかなる理由であっても「追加の交代要員」を使うことができる。
- (6) 交代要員の数：9名
- (7) テクニカルエリア：設置する。
戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1人が伝えることができる。指示を与えた後は所定の位置に戻らなければならない。
- (8) ベンチに入ることができる人数：15名以内（交代要員9名、役員6名）
- (9) 本大会期間中、異なる試合で警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない
- (10) 本大会において退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律委員会で決定する。
- (11) 本大会試合球は、5号日本協会検定球とする。
12. ユニフォーム
- (1) ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを各試合に必ず携行すること（FP・GK用共）。
- (2) シャツの背面にメンバー表に記載した選手番号を付けること。シャツの前面・ショーツの選手番号については付けることが望ましい。
- (3) その他の事項については（公財）日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に則る。
13. 参加申込 (1) 参加申込は所定の書式のデータを高体連サッカー専門部女子部委員長へメール送信すること。
- (2) 申込期日は 2026年5月12日(火)【大会前日】12:00 までとする。
- (3) 参加申込以降の変更は認めない。
14. その他 (1) 代表者ミーティングは第1試合開始70分前に大会本部に於いて第1試合・第2試合まとめて実施する。その際、選手登録証（写真貼付されたもの）メンバー提出用紙4枚・正副ユニフォームを持参すること。不携帯の選手は当該試合への出場を認めない。
- (2) 優勝・準優勝チームには賞状を授与してこれを表彰する。
- (3) 各チームの応援については会場ごとのルール則る。
- (4) 大会規定に違反し、その他不都合な行為のあった時は、そのチームの出場を停止する。

15. 組み合わせ

5月13日(水) YSKe-com シルクパーク

A 日本航空高校 対 B 日本大学明誠高校 キックオフ 10:00 運営 CD
C 甲府商業高校 対 D 帝京第三高校 キックオフ 13:00 運営 AB

5月14日(木) 【3位決定戦】 押原公園天然芝 G

A 対Bの敗者 対 C 対Dの敗者 キックオフ 10:00 運営 AB、CDの勝者

5月15日(金) 【決勝戦】 押原公園人工芝 G

A 対Bの勝者 対 C 対Dの勝者 キックオフ 10:00 運営 AB、CDの敗者

A : 日本航空高校 (選手権予選 1位)

B : 日本大学明誠高校 (選手権予選 4位)

C : 甲府商業高校 (選手権予選 3位)

D : 帝京第三高校 (選手権予選 2位)